

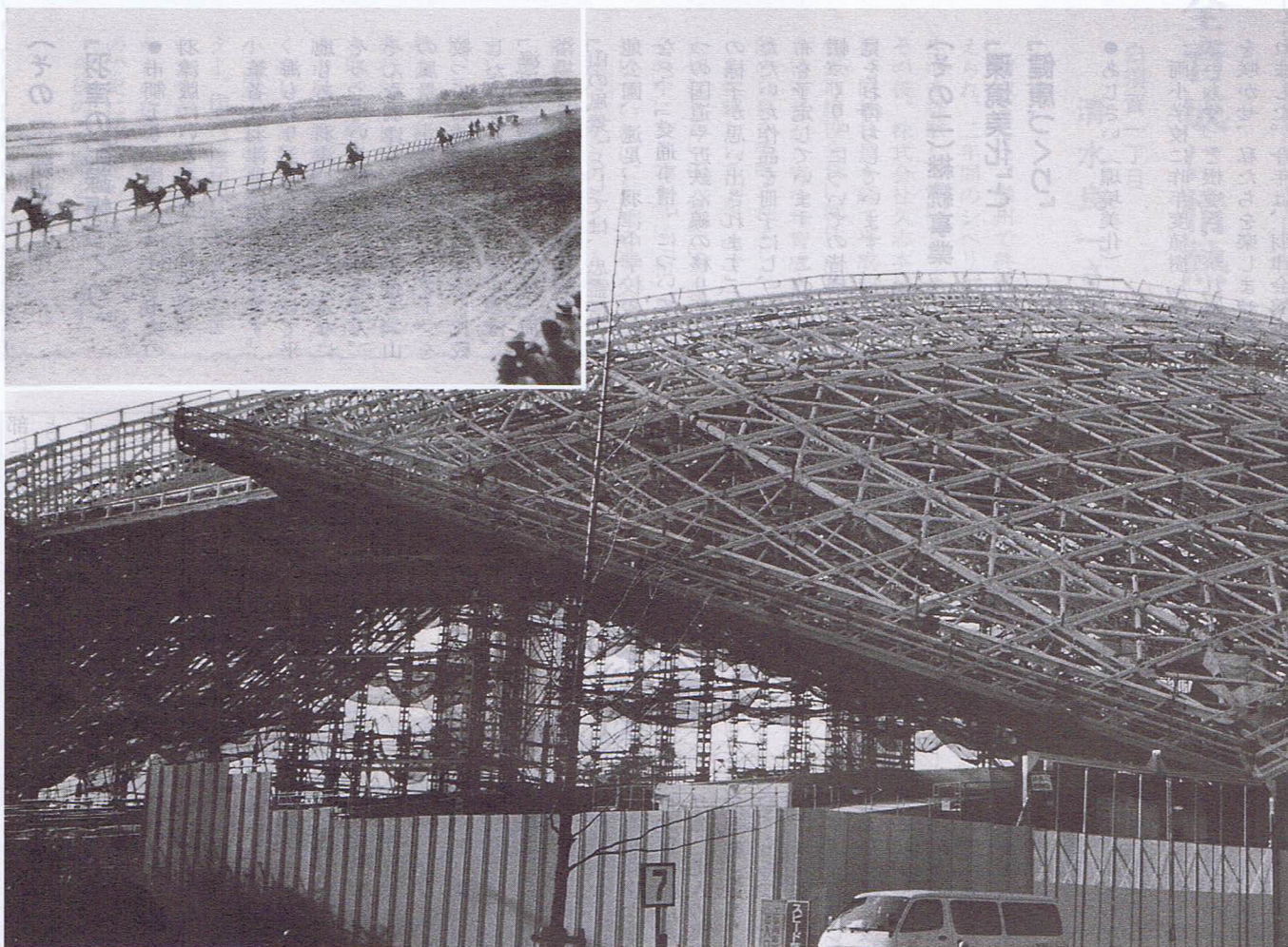
地区広報

はづ

No.32

羽津地区市民センター
羽津地区社会福祉協議会

平成8年10月25日



市制100周年を迎えるに当り、いま、霞ヶ浦緑地内に多目的ホール「四日市ドーム」の建設が進められています。

昔といっても約60年くらい前までは、この辺りは白砂青松の美しい海岸線に恵まれ有名な霞ヶ浦海水浴場として近郷の人びとに親しまれた施設と共に、競馬場があり、ファンで賑わったものです。

羽津地区人口 総数 14,991人 男 7,658人 女 7,333人 世帯数 5,315世帯 (H8.9末現在)

平成8年度 羽津地区

地域社会づくり事業決まる!

—こんなことを計画しています—

【その一】新規事業 『羽津の記録帳づくり』

●市制100周年に向けて市史の羽津版にいとみます。

筆者は羽津地区のあなたです。海もあり、山もあり、そして平地もある羽津。市内でもこんなにそろっている地区はありません。そんな羽津を「海辺の風景」「山の風景」「交通事情」にテーマを絞って羽津の今と昔の様子を比較したいと思います。たとえば、「海辺の風景」では競馬場、海水浴場、コンヒナート、競輪場など、「山の風景」としては、忠霊塔、緑地公園、遠足、羽津中学校のことなど、「交通事情」については2つの国道や近鉄沿線の移り変わりの様子が思い出されます。応募いただいた作品を冊子にし、全戸配布を予定しています。この「記録帳づくり」についての皆様のご意見をお待ちしています。

【その二】継続事業

●『環境美化』と『健康づくり』

●あじさい（環境美化）

両小学校に昨年度植樹したあじさいもやっと根つき、かれんな花を咲かせ、私たちを楽しませてくれました。今年、羽津会館の一

部に花が咲く木を植え、あじさいとともに管理していきたいと思っています。

●ウォークラリー大会
12月1日(日)の実施にむけて準備中です。秋の一日私たちの羽津をのんびり歩いてみませんか。

●マラソンソフト大会
昨年引き続き実施の予定です。詳細については検討中。



お願い!

「羽津の記録帳づくり」については、地区の皆さんのご家庭で大切に保存されているアルバムから、貴重な昔の写真をお借りしたいと思っています。「こんな写真があるけど……」というお声をお待ちしています。皆様のご協力をお願いします。

平成8年度 東部ブロック地区交流懇談会 —高齢社会に向けての地域社会づくり—

七月十一日、羽津地区市民センターにおいて、市側より加藤市長、稲垣調整監、市長公室長、総務部長等関係部課長、地区側から各自治会長、関係団体役員、地域づくり推進員など多くの方々の出席をいただき、地区交流懇談会が開催されました。

今年度は、「高齢社会に向けての地域社会づくり」をテーマに東部ブロック四地区での活動報告や意見発表がありました。

高齢化率が四日市で一番の東橋北地区は「独居老人に、ひとり暮らし老人の実態」と題して、緊急連絡カードの配布、お楽しみ会、もちつき大会、各家庭への訪問による安否の確認など、地域ぐるみで、孤立しがちなひとり暮らし老人を介護支援している様子が発表されました。

高齢者福祉施策のモデル地区に指定されている西橋北地区は「寝たきり老人に関して在宅福祉サービスの現状」の報告です。

介護家庭におけるさまざまな問題に対応するためケース検討会を月例で開催。民生委員、ホームヘルパー、県・市の保健婦、医師会など多方面からの介護と情報の把握により、住民からの信頼を得、安心感を与えています。



海蔵地区の老人会は「地域づくりにおける老人の活動について」の報告。

健康・友愛・奉仕を標語に互いに手を取り合って、残された人生を楽しく過ごそうと仲間づくりをしている。さくらまつり、しょうぶ園の育成など、地域の行事への参加も積極的に協力していると話されました。

最後に、羽津地区からは「高齢者の交通安全対策について」です。

昨今の交通事故で高齢者が関わっている事故が非常に多いことから、ゆずりあいの心・思いやりの心を持って安全運転をする。シルバーマークの配布、バス回数券を配布する施策をもっと充実させることにより、公共交通機関の利用推進になるのではないかと、この意見が出されました。



青少年健全育成に情熱!

白須賀一丁目
清水良一さん

次代を担う青少年の健全な成長を育くむ環境づくりは、私達大人の義務でもあります。四日市市青少年育成市民会議会長として活躍の清水良一さんにお話を伺いました。

青少年育成市民会議は、昭和五十三年に市民組織として結成されて、家庭や地域、学校、企業などの分野で、青少年の自発的活動が進められるように関連団体の連絡調整と、全体的な運動の中心的役割を果たしています。

この組織は市民の皆様の問題の大切さを理解していただくため、あらゆる機会を通じて啓発活動を進めると共に、人格形成の基盤である家庭づくり推進のため「家庭教育講演会、明るく楽しい家庭づくりの作品募集、あじさい運動」など、各種事業への助成をしています。

清水さんは、満州で終戦を迎えられ、二年間のシベリヤ抑留生活を経験して帰国されました。その後、株式会社久志本組に入社、同社長を経て平成四年に代表取締役会長に就任。同年、四日市市長から青少年育成市民会議の会長を委嘱されました。

人生訓として「和」のころを大切にしたい。家庭は勿論、社会の中にあっても常に「和」を心掛けていけば、全ての事が順調に運べますとのこと、人柄が偲ばれます。

地区への要望事項をお伺いしました。自治会をはじめ青少年協、スポーツ少年団、PTA、学校などの諸団体でも、青少年の非行防止に向けて諸活動に連携を取って欲しい。また、青少年育成市民会議活動のなかで「明るく楽しい家庭づくり」のため、小・中学校児童生徒を対象にポスター、作文、標語などを募集していますが、残念ながら羽津地区からの応募が少なく思うので更に関心をもって欲しい。由今後のご活躍をお祈りします。

羽津地区 非行防止連絡協議会 発足について

会長 須藤啓一

平素は、羽津地区青少年の健全育成にご協力下さいましてありがとうございます。

この度、羽津地区青少年非行防止連絡協議会（以下、青少年非行連協と呼ぶ）を本年四月から発足する運びとなりましたので経過を説明いたします。

四日市市に地区非行防止連絡協議会があり四日市各地区の三十五団体が加入しています。その中で羽津地区は青少年育成協議会が出席していましたが、補導内容だけにとどまり、関係諸団体との連携

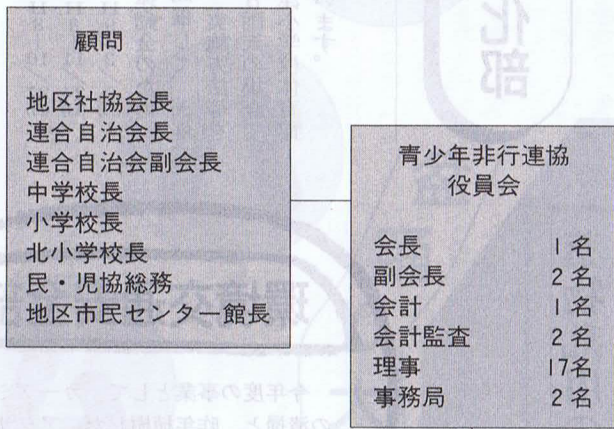
が取れませんでした。

本年度四日市非行連協に於いても内容をより充実させる為に、四日市の会則を整備し青少年の健全育成に取り組む方針を打ち出しました。

羽津地区もこの機会に青少年の非行防止に、諸団体との連絡が密にできる様、みだしの連絡協議会を設立いたしました。

青少年非行連協組織図を掲載いたします。

羽津地区青少年非行防止 連絡協議会組織



(理事)

- 自治会代表
- 主任児童委員
- 町補導委員代表
- 保護司代表
- 民生・児童委員副総務
- 警察協働員
- 中央補導員
- 青少年相談員
- 県・立入調査員
- 羽津中学校PTA
- 羽津小学校PTA
- 羽津北小学校PTA
- 羽津幼稚園PTA
- 羽津文化幼稚園PTA
- あおい幼稚園PTA
- 羽津保育園PTA
- みのり保育園PTA

*三校PTA、育成会においては、担当委員さん(補導部員)でお願いします。



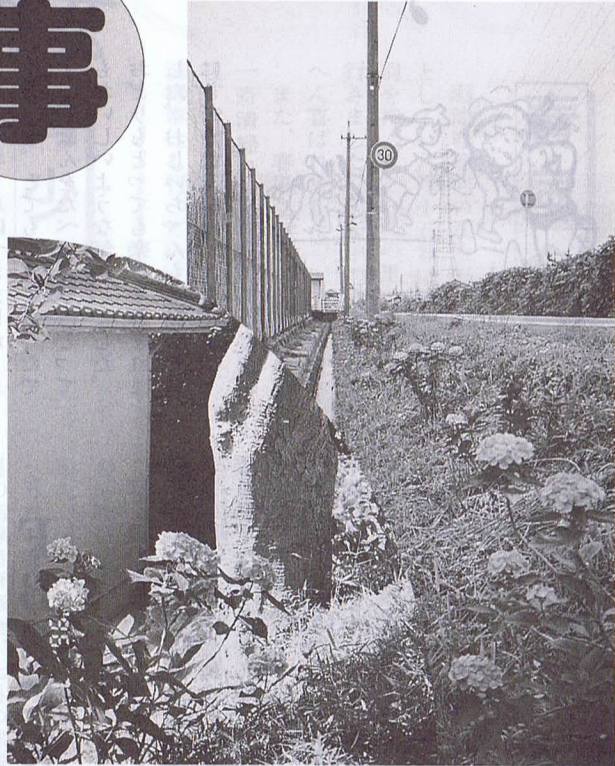
婦人会のたき出し

行

花いっぱい運動

あじさいが咲きました

事



防災訓練



ア

ル

パ

ム

盆踊り大会



盆踊り大会
外国の人も一緒に
楽しみました

あたたかなビンゴゲーム



学校

四日市市立羽津小学校

四日市市立羽津小学校

四日市市立羽津小学校

青少年育成部

来る十二月一日、青少年育成部主管のウォークラリーを例年の通り開催します。その準備のため、部の会を開きました。いつも車で走り抜けている羽津の町を、仲間と歩くことにより新しい発見をし、楽しく健康的な一日を送りましょう。

応募要領などくわしいことは、後日パンフレットを皆さんの手許まで届けます。

羽津小学校スタートで、歩く距離は8.9km程度です。景品、参加賞など用意しますので奮って参加して下さい。

福祉部

平成八年度の敬老行事として、羽津地区在住の七十歳以上の高齢者一、〇四七名の皆さんに記念品を贈ることになりました。

福祉部会として、記念品の選定から袋詰めまで

と、名簿の確認と校正を経て作成まで、民生委員・ボランティアふれ

あいの会の有志の皆さんの応援を得て、まとめることができました。

「敬老の日」に当り、各町自治会長を経由して配布されました。

本年度の羽津地区の最高齢者は女性では、別名二丁目の森里しさん（九十八歳）、男性では同じく別名二丁目の清水太吉さん（九十六歳）でした。

今後の部会の予定としては、来る十一月三十日(土)に志氏神社に於いて戦没者慰霊祭を挙行することになっています。

社協 各事業部の動き

健康推進部

健康推進部は、平成八年度事業計画として、次の行事を予定しています。

広報文化部

○盆踊り大会

台風12号の影響で順延し、8月15日に開催。盛況裡に無事終了しました。

当日は、午後5時からカラオケ大会

やビンゴゲームで楽しんだ後本番に入り、

和太鼓、民謡、民謡の各サークルの皆さんの協力を得て、賑やかに踊りの輪をつくりました。偶然、日本へ来ていた外国の人たちも一緒に、楽しそうに踊っていました。

また、模擬店では地区の諸団体の協力で各種の出店をして、大会参加の皆さんに利用していただきました。

○地区広報「はづ」第32号発行。

※今後の予定

○平成9年3月 地区文化祭。

○平成9年3月 広報第33号発行。

環境交通安全部

今年度の事業として、カーブミラーの清掃と、昨年植樹した、アジサイの除草手入れを、8月18日に、各種団体の協力を得て行いました。

カーブミラーの清掃は、羽津地区を、8ブロックに分けて実施、歪んでいるミラーは後日、安協会員が行い、羽津地区のカーブミラーは見やすくなりました。

同日行ったアジサイの手入れは、平素の管理が良く、今年度は小さいながらも、美しい花が咲き力強く根づきました。

今後の事業として、アジサイの補植と、羽津会館前への植樹を計画しています。

薬物乱用のない社会環境づくりを

—愛する自分を大切に—

麻薬・覚せい剤の乱用が低年齢化し、中高生の間で広がっています。薬物の乱用は、脳や身体への悪影響は言うまでもないことです。シンナー等の乱用のない社会環境づくりに参加しましょう。

麻薬・覚せい剤・シンナーの乱用をなくす

普及運動 国連支援募金

厚生省・警察庁 都道府県 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

愛する自分を大切に
Yes To Life, No To Drugs.

国連麻薬乱用撲滅の10年(1991年~2000年)
UN DECADE AGAINST DRUG ABUSE(1991~2000)
6・26国際麻薬乱用撲滅デー
The International Day Against Drug Abuse and Drug Trafficking

こんなこと



80m走

羽津北小三年
間瀬 麻由奈

わたしは、80m走のれん習で足がいたかったので、れん習のときは、ずつとどででした。それがとてもいやだったので、運動会なんてなかったらいいと思いました。運動会の日になって、わたしはがんばるしかないと思いました。とうとう80m走の番になってしまいました。どうしようと思いましたが、でも、がんばったならどべになってもいいと思いました。「いちについてヨイドン」となりました。わたしは、ふんばって走りました。ゴールにつきました。5位でした。とてもうれしかったです。ごはんをたべるときにとってもおいしいような気がしました。おどりとっても楽しくおどれました。おじいちゃんも運動会を見に来てくれました。



アルミ缶大作戦

羽津小四年三組担任
堀 弘幸

アルミ缶回収で
学級活動を生き生きと!!

月二回の再生ゴミの収集日に、「アルミ缶大作戦」と名付けて子どもたち数人が学校の近くのゴミ集積所に袋を片手に集まってくる。彼らは、「銀行代表」と呼ばれ、その名の通り、学級活動に使う資金を集めるのが任務なのである。一回の収集で約二十キロのアルミ缶を集め、業者に一キロ五十円で引き取ってもらっている。

子どもたちにとって、高く積まれた空きカンの山は、「宝の山」なのである。ある子どもは、「先生、今朝、夢見た。私が朝アルミ缶を取りに行こうとすると袋がなくて困っている夢なんや。」と教えてくれた。夢の中にまで出てくるこの活動は、四年三組に、なくてはならないものとなっている。現在、この活動で得た資金は、学級の生き物班が飼っているニワトリ三羽とチャボ一羽のえさ代と、建設中の鳥小屋の材料費に使われているが、他の班（お楽しみ班や作って遊ぶ班等）からも資金の要望が出ている。

FBCに参加して

羽津北小六年 赤塚 勇友

ぼく達の学校では、今年、FBC（フラワープラボーコンクール）に応募することになり、栽培委員会が中心となって取り組むことになりました。

まずは、種まきです。委員会の時間にみんなでポットに土を入れて、そのポットに種を入れて苗を作りました。でき上がった苗を花だんに植えました。そして毎日交代で、朝と帰りに水をやりました。夏休みには先生やみんなが水をやりに来てくれました。夏休みが終わったころには、花だんのま



あんなこと



春風会

羽津春風会の女性部活動の一環として、八月十五日に折鶴一万羽を持って、「萌の里」の慰問に行きました。入所中の皆さんに大へん喜ばれました。



また、春風会では、全国老人会一斉清掃日にあわせて、志氏神社、伊賀留我神社、城山公園等の清掃奉仕も行っています。

青少協

羽津地区青少年育成協議会、ならびに各町の子供会活動にご協力いただきありがとうございます。「子どもが親しみ進んで活動する活発な子ども会活動を育てよう」



八月の野外キャンプは、百名近い子どもたちが、鈴鹿青少年の森にテントを張り、楽しいひとときを過ごしました。

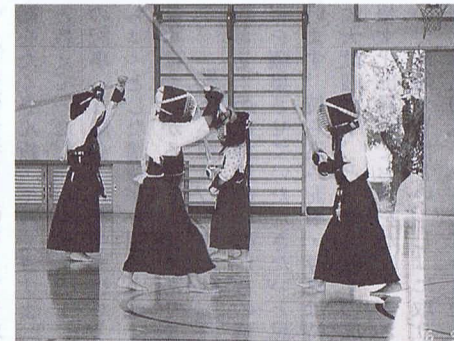
五月の総会を、無事終了し、六月の指導者研修会、七月の球技大会を開催。試合では子どもたちが練習の成果を十分に発揮し、保護者の応援も力が入っておりました。

青年団が解散して、体振の活動は、羽津の活気を一手に担うようになりました。

剣道の稽古を 見においでよ

スポーツ少年団剣道部
奥村 良美(父兄)

す。このめりはりが子どもたちを成長させるのでしょうか。こんなに素晴らしい剣道の稽古を一度見に行らっしゃいませんか。



体育振興会

青年団が解散して、体振の活動は、羽津の活気を一手に担うようになりました。

今年から盆踊りのやぐら建ての手伝いに加勢しました。羽津のためならと思いで、皆さんには、本当に頑張っていたいています。

歩いてみよう

みつけよう! はづのすばらしさ

はづのまち

12月1日(日)予定

ウォークラリーはづ



花の命は短かくて……
見事に咲いた月下美人(大宮町で)

どうぞよろしく 婦人会

平成七年八月二十六日に結成して、早くも一年が過ぎました。
最初は皆が「これからどんな婦人会にしたらいいのか」と戸惑い、不安だったと思います。
一つには、災害及び防災訓練に協力する。二つには各戸一人は入会していただく。又、婦人会は羽津地区社会福祉協議会に加入する等その他にも約束事を定めての出発でした。

今年になって早速、盆踊りに参加した後、次に最大の目的である防災訓練に参加しました。

晴天に恵まれ、参加人数五十六名が四班に分かれ、洗った米を耐熱ポリ袋に入れ、熱湯の中で三十分位茹でました。出来あがったご飯は、おにぎりより清潔で、使う水も少なく、保存期間も長いので安心です。

作業をしながら、「本当に災害にあつたら、水もガスも出ないし、どうしよう。今日は訓練だから、うまくいったね。」と話していました。

あつてはならない災害ですが、いつおこるか分らないのが災害です。一人では出来ない事でも、たくさんの力があれば出来ると思います。

まだまだ発足したばかりの婦人会ですが、地区の皆様の協力が一番大切だと思います。これからもよろしくお願いします。

明るい選挙 推進協議会



「明るい選挙」とは、買収・供応・

義理人情などによる選挙を廃し、公正かつ適正に行われ、私達の意見が政治に正しく反映される選挙をいいます。これを推めるための運動が「明るい選挙推進運動」で、特定の政党・政策・候補者を支持したり、反対したりする政治活動や選挙運動とは、はっきり区別されるものです。

一人でも多くの有権者が投票に参加し、選挙がきれいに行われることが大きな目標ですが、有権者のひとりひとりが、国民や住民の代表者としてふさわしい人を選ぶ「目」を持つことこそ、欠くことのできない要件です。

国民が政治に対する認識を深め、政治意識の向上をはかることが非常に大切なのです。

国や都道府県、身近な市町村の行政がどうなっているかについて、正しい認識と関心を有権者が持つようにならないけません。私達が政治の主人公であるとい

う、主権者としての意識と態度によって裏付けられていなければなりません。そこで当地区においても、この趣旨に沿って、六名の地区委員と、二十五名の友の会会員とで活動しています。

今後共、皆さんのご理解、ご協力をお願い致します。

編集後記

「何人かお集まりになって千羽鶴をたくさん折ってみえますよ」と教えていただいたのが7ページの記事「春風会」になりました。ちよっとした情報が今回のように記事につながるものがよくあります。『地区広報はづ』または『お知らせ』版に地域の皆様からの情報を編集させていただきたいと思えます。持ち込み記事・写真は特に大歓迎です。どうぞお近くの広報文化部員までお声をかけて下さい。地域の皆様ともしっかり取り組める広報紙をめざしていきたいと思えます。

編集委員

- 山本 鉄男・田中 逸夫
 - 久志本 隆・森 照代
 - 藤井 久子・山田 明美
 - 佐々木里美・尾崎小百合
 - 田室紀久子・松本 治美
 - 西沢 喜弘
- 羽津地区市民センター